

令和8年度 第1回総代正副代表者会議 ご意見・ご質問に対する回答について

Q 1. 出資配当金等について

昨年は米の買い上げ価格が大きく上がり小規模農家ではありますが、我が家も嬉しい限りでした。ありがとうございます。物価は天井知らずか、一弾二弾三弾と分けて次から次へと上がっています。景気のパロメーターでもある株価指数は、一部のAI企業の急激な値上がりを背景にすべての企業も株価もつられて上がっています。このまま高値で維持することができるのでしょうか？甚だ疑問です。

ここで質問ですが、①JAしまねはどの部門で儲けて農民が出資している出資配当金を出して頂けるのでしょうか？ ②私の記憶に間違いが無ければ「出資配当金目標2%」が掲げられ現在もこれは継続しているのではないのでしょうか？しかし目標2%はいまだに達成されず（達成されている年度があれば失礼しました）今日まで来ているのではないのでしょうか。金融の雄である合銀さんは、令和8年度配当金は1株当たり68円です。割り算をしてみてください。生保・損保業界もあの手この手の新商品を出して好調な決算を計上していると聞きます。

③今年のJAしまねの出資配当金はいくらですか。

④JAしまねの増収増益は何を基に達成されるのでしょうか。

A 1. 【本店 企画管理部】

<前提> まず、株式会社とJAでは、それぞれの目的と利益の還元方法が違います。

株式会社は投資家から資金を集めて事業を行い、利益を最大化して株主に還元することを主な目的とし、株主への「投資に対するリターン」で利益を還元します。一方JAは、利益を追求することよりも、事業の安定的な運営と、組合員が安心して暮らし農業を続けられる環境を維持することが目的とされます。利益の還元も配当金として直接支払うだけではなく、組合員が利用するサービスの手数料軽減や、営農指導などの目に見えない形での還元も重視しています。

① JAしまねは、全国の多くのJAと同様に信用・共済事業の黒字で営農・経済の赤字を補填する損益構造となっています。（参考：第12回通常総代会資料101頁 部門別損益計算書）

② ご指摘の出資配当目標2%については、統合前の資料等でも目標として設定したことはありません。出資配当は定款の定めにより内部留保を優先しつつ、毎年の決算結果を踏まえて慎重に協議したうえでお諮り致します。

③ 令和7年度における出資配当金については、地区別総代会および6月28日開催の第12回通常総代会において、1.25%でお諮りする予定としています。

④ JAしまねでは、第4次中期経営計画で掲げたJAしまねの目指す姿である「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」の実現と、組合員・利用者の皆様のお役に立てるよう各事業や取り組みを実践します。令和8年度における各事業や取り組みの方針および収支計画につきましては、事業計画書で説明いたします。

Q 2. 食育について

田植えやさつま芋等の植え付けシーズン入ると、テレビ各局は子供たちの植え付け体験等を盛んに放送している。次はその収穫の体験、子供たちはどのように思っているだろうか。収穫までの工程体験は殆ど取り上げられていない。

稲や野菜を植えて、何もしないで収穫は出来ない。植え付けから収穫までの何らかの体験、教育も必要ではないか。

A 2. 【営農経済部】

田植えやさつま芋の植え付け体験および収穫体験は、幼稚園や小学校からの依頼に基づき、当 JA の食農教育活動として、JA しまねくにびき地区本部と JA しまねくにびき青年連盟が共催して実施しています。植え付けから収穫までの間には除草作業など多くの工程があり、これらも農作業において重要な過程であると認識していますが、現時点では体験実習として提供しておりません。

その代わりに、農業用具を持ち込んで除草作業等の説明を行うほか、スライドを用いて農作業の工程を分かりやすく紹介し、収穫に至るまでに多くの労力が必要であることを理解してもらう授業を実施しています。

これらの取り組みは、毎年「出前授業」として、管内の幼稚園児・小学生を対象に行っています。

Q 3. くにびき改革プロジェクト進捗状況について

グリーンショップやくもが令和 8 年 3 月末で閉店した。その後のことについて進展がないように感じている。閉店すればそれで終わりではなく、テナントに入ってもらい八雲支店の収支のベースを作ってもらわないと、八雲町から支店がなくなってしまうと危惧している。そういう要望をしているのにも関わらず、テナント募集のチラシや看板、その他メディアでの募集等が一向になされないがどのように考えているのか伺う。

A 3. 【越野本部長】

今年 1 月の集落座談会の際にも今後の在り方についてのご不安点を聞いておりました。まずは、八雲町の皆様方が必要な施設としてご活用いただきたいとご説明しておりましたが、3 月～5 月のところでは協議が行われていないと思っています。このご質問は、外からのアクセスがないということだと思っています。また、5 月末で閉店した他店舗と一緒にではありますが、現在、管理物件やテナント募集などの表示をするよう指示しております。今後も総代、運営委員、集落委員の皆様とも連携しながらスピード感を上げて取り組んでまいります。

Q 4. くにびき改革プロジェクト進捗状況について

不稼働資産の取扱いについて、今後どのような方針で対応していくのか。「地域との調整が難しいから」、「法的な問題があるから」と対応が停滞しているように感じている。

農用地区域の取扱いについても、法的に難しいからと投げていると、だんだんと老朽化していき、先般の地震のときも影響がでている。そのような取扱いもどのように対応するのか早めに検討いただきたい。地域から売却希望があったときなど、どのような形であるのか、地域であればどこが窓口となり対応するのか、示して欲しい。

A 4. 【越野本部長】

このプロジェクトを起ち上げた段階では、JAが所有しているものではなく借地で賃借料を支払っているもの、固定費がかかっているものについては先に処分していきたいというのが最初の考え方であり、そこについては流動化が図れたと思っています。

そのような方針を掲げた中で、地区本部運営委員の皆様も含めて、ここにおられる総代の皆様方も地域の情報をいち早くキャッチされるお立場でありますので、運営委員会や集落委員会などのJAの会議の中で議題として出していくことで地域課題として議論いただきたいと思っています。

まずは、地域の皆様に情報を開示しながら一緒になって流動化を図っていきたいと思います。そして、JAではない不動産業者や住宅メーカー、建設業者など取引業者にも情報を提供し、流動化に向けて幅広く促進して参りたいと考えています。皆様からの各地域の情報につきましては、改革推進担当、企画総務部、各支店へ情報提供いただきたいと思っています。

Q 5. くにびき改革プロジェクト進捗状況について

旧農機南整備場は使われているのか。地元でありながら把握していないが。以前、みどりの郷で法人化したときに貸出しを断られたことがあるが、資料を見ると農業関連団体へ貸出となっている。これは町内の法人とか農業団体なのか。一言、ご利用される意向でもありませんかと声掛けがあっても良かったと思う。貸出先は言えないかもしれないが、いつまでの契約なのか。できれば地元で活用したいと思っているがどうか。

非常に古い建物でもあり、貸出しするもの怖い、地震でも来れば崩れそうと思っていたので貸出しは難しいかと思っていたが、最近、農機具が置いてあり、また利用を開始したのか、中古品でも置いてあるのか。もし貸出しが出来るなら借りたいと思っている。

A 5. 【越野本部長】

現在、カサーレ出雲郷に貸し出しています。理由は、臨時避難的な措置をさせていただいたところ。令和8年1月の地震で、出雲郷倉庫に被害があったため解体することになり、倉庫内の一部分を農機具保管場所としてカサーレに貸出ししていただきましたので、離れた場所ではありますが、緊急的に農機具を運んでもらうようお願いしたところです。各法人の中で農機具の施設などは建設されたり使っておられたりしていますので、各法人さんについては、占有するような形の貸し出しは控えたいと思っています。JAの施設は組合員の皆様のもですが、地域外だから利用できない訳でもございません。不公平感や、どこかを優遇することはないようにと思っていますが、今回は外的要因があつての緊急避難的な措置であると整理しています。しばらくの間は出入りがありますが、このまま長期に渡って貸出しするつもりはございませんし、先方も理解しておられます。事前にお話をしなかったことについてはお詫びを申し上げます。

Q 6. 令和8年度事業計画について

「資産管理・相続相談事業」について、組合員・利用者が保有する不動産の利活用の支援と情報提供の強化とある。これは農地に限らず、空き家対策や相続に絡む相談や橋渡しなどもされるのか。

具体的にはどのような取り組みをされているのか。

A 6. 【企画総務部】

特に相続に絡んでという縛りでなく、不用になった農地の処分や利活用など、市街化区域の宅地等も含め、不動産全般の処分・利活用についての相談も資産相談センターで受付けています。

もともと資産管理事業として不動産の利活用（アパート経営や貸農園）から資産管理事業を展開し、現在では不動産の売買や相続相談などの業務も行っています。

以上